

### 3位

趙小西（チョウ・ショウセイ） 中国

ユニタス日本語学校東京校

#### 耐え忍ぼう、あの3センチメートル

皆さんは、だれでも竹という植物を見たことがあると思います。皆さんの印象の中で、竹はどんな物ですか？竹は細長い、竹の枝はまっすぐに伸びている、霜にも雪にも負けず、どんな時でも青々と目に映る、などの印象だと思います。中国では竹は梅、蘭、菊と並ぶ四君子、梅、松とは歳寒三友と呼ばれています。古今の文人墨客たちは、竹を愛して、詠嘆した者が多いです。今日、私が紹介したいのは、皆さんが知らない竹の一面です。

中国の東地方で成長する竹の種類の一つ「孟宗竹」、その農民が山の中であちこちに種をまいて、毎日心をこめて育てられています。しかし、たとえ農民たちが数年間ずっと一心に世話をしても、種の発芽は最初の4年で3センチしか伸びません。別の地方の人はこの様子を見て、頭を振って「全然理解できない」と言います。しかし、竹は5年経つと突然、毎日30センチ近いスピードで伸びます。6週間で長さが約15メートルになって、この山は一瞬で緑の竹林になります。4年間でほんの3センチしか伸びなかったのに、5年目から嵐のように成長し始めて、最後の6週間には不思議な変化が見えるかもしれません。でも、実は、その前の4年間で竹の根は既に土の中で数百メートル伸びていたのです。

よく考えると、私たちの周りにも竹のような人がいるはずですが。たとえ一生懸命努力しても成果が見えない人でも、ほかの人が気付かないところで粘り強く頑張っています。他人が彼らを見た時、彼らはばかだと思うかもしれません。しかし、彼らは成長しないのではなく、焦らずに、とても深く丈夫な根を伸ばして、機が熟した時に、他人には届かない高さまで成長しています。

今、私たち留学生も、竹のような根を伸ばしている段階にいます。私たちは親密な家族、友達やよく知っている生活環境、言葉から離れて、まったく見知らぬ国に来ました。勉強や夢を実現するために黙って自分で努力しています。新しい言語をマスターするのは困難だし、外国人との交流は大変です。アルバイトにも苦労しています。

でも、学校でいい成績がもらえるとわくわくするし、全ては私たちの成長の過程の中で蓄積している貴重な財産です。この過程の中で、時々私たちは思うように日本語が上達しなくて焦ることもあります。周りの人が諦めるのを見て、自分が留学した時の初心を疑い始めるかもしれません。この時こそ、私たちは自分と向き合って、消極的な感情に左右されないように、頑張らなければなりません。

私達は どうして日本へ来たのでしょうか？

今までの慣れてる世界と、すべての過去を置き去りにして、私達はもっと広い世界を見るために、もっと素晴らしい自分と出逢うために、ここまで来たのではないのでしょうか？

もし大きな努力をしたのに、しばらく成果が出ない時、私たちは必ず自分にこう言ひましょう。臆病にならず、初心を忘れないで。今の苦楽はすべて自分の実力になります。あなたは成長していないのではなく、しっかり根を伸ばしているのです。

私の大好きな小説「夜、西へ航行」の中の言葉を紹介します。「未来は霧の中に隠れている。見るのが少しこわいだけだ。しかし、あなたが踏み出せば、雲散霧消だ。」

留学生の皆さん、初心を忘れないで。根を伸ばして。堪え忍ぼう、あの3センチメートル。